

第69回 全国学芸サイエンスコンクール 特別企画

スタートアップ部門

【対象／小学生、中学生、高校生】

昨今のめまぐるしく変化する社会において
アントレプレナーシップの重要性が増しています。
子どもたちに、これからの時代を生き抜く力を身につけてほしい、
そして豊かな未来を創造してほしい。
その思いから、全国学芸サイエンスコンクールの特別企画として
「スタートアップ部門」を設けました。
明るい世の中、より良い未来をつくるための第一歩として
「総合的学習（探究）の時間」での取り組みをご検討いただければ幸いです。
新部門へのご参加を、心よりお待ちしております。

▶ 特別企画 実施概要

【部 門 名】 スタートアップ

【審査形式】 一次審査：書類（企画書）／二次審査：プレゼンテーション動画

【応募期間】 2025年6月2日（月）～9月22日（月）

【対 象】 小学生（4年生以上）、中学生、高校生

【テ ー マ】 小学生、中学生、高校生共通

①地域活性化ビジネス

②社会・環境問題解決ビジネス

③未来の学校・教育ビジネス

④その他のテーマでのスタートアップアイデア

【後 援】 文部科学省、環境省、こども家庭庁（予定）

【表彰式】 オークラ東京（予定） 2026年3月6日（金）

【 賞 】 「旺文社ベンチャーズ大賞（1名）」、「金賞・銀賞・銅賞（各3名）」

▶ 応募規定

〈共通〉

- 小学4年生～高校3年生
- 同一部門での応募は、1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したものの、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
- グループなど共同制作した作品の応募も可能。グループの人数制限はなし。クラス単位での応募も可能。
グループでの応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の氏名、指導した先生

名を明記し、指定の応募用紙・応募票の名前の欄にグループ名と制作に携わった人数を記入すること。

- PDFやJPEGなどの電子データで送付(紙でも受付可能。用紙のサイズ指定はなし)。
- 学校応募の場合、提出作品をフォルダにまとめ、フォルダを圧縮したzipファイルで提出すること(フォルダ名は学校名にすること)。
- 指定フォーマットの使用は自由。指定フォーマットを使用しない場合は、表紙に学校名、学年、氏名、作品名を記載すること。

※指定フォーマットは下記URL(全国学芸サイエンスコンクールホームページ)内の「特別企画スタートアップ部門」よりダウンロードできます。

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

〈テーマ〉

小学生の部	中学生の部／高校生の部
テーマ①：地域活性化ビジネス	
自分の住む町に「こんなお店があったらいいな」「こんな施設があったらいいな」「こんな街並みにしたい」など、自分がより魅力を感じる町、より大好きな町、より人に愛される町などを想像してください。 そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	自分の住む街をより良く活性化させるビジネスアイデアを創造しましょう。 そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ②：社会・環境問題解決ビジネス	
いま、世の中では何が起こっているのか。日頃、自分が感じている疑問や不安に思うことなどを思い起こしてください。その思い起こしたことを自分事として捉え、解決するには何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	いま、世の中で起きている様々な問題を解決するためのビジネスアイデアを創造しましょう。 そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ③：未来の学校・教育ビジネス	
「こんな学校だったらいいな」「こんな授業があるといいな」「こんなこと学びたいな」など、自分がより学べる、毎日通いたくなる、楽しくなる学校や学習法などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	みんなが通いたくなる(入学したくなる)素敵な学校モデルやより学べる仕組みや新しい学習法等のビジネスアイデアを創造しましょう。 そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ④：その他のテーマでのスタートアップアイデア	
①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあったらいいな」「こんなサービスがあったらいいな」などを想像してください。 そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあったらいいな」「こんなサービスがあったらいいな」等、ビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

▶ 審査基準

	一次審査（企画書） ※一次審査通過者のみ動画を提出する。	最終審査（動画）
小学生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中の「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	プレゼンテーション力 (プレゼンテーションは5分以内)
中学生の部 高校生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力、収益性 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中の「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	

▶ 応募締切から結果発表までのスケジュール

	9月	10月	11月	12月
応募期間	締切9月22日			
一次審査 結果通知		10月下旬 (予定)		
プレゼン動画 提出期間			締切11月中旬 (予定)	
最終 審査			11月末 (予定)	
結果 発表				12月中旬 (予定)

〈作品返却について〉

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。

〈応募作品の著作権について〉

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者（作者）に帰属します。

ただし、応募者は、応募の時点で、主催者（旺文社）が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載および事業における利用等を含む自由な利用を行うこと、ならびに旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者（旺文社）は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行うことができるものとします。

〈個人情報の取り扱いについて〉

応募の際に提供された個人情報は、コンクール運営業務の目的以外では使用されることは一切ありません。旺文社の個人情報保護方針については、旺文社ホームページにも掲載しております。

〈企画書の送付先〉

- 郵送の場合 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 株式会社 旺文社
全国学芸サイエンスコンクール事務局「スタートアップ部門」
- 電子データの場合 Eメール：startup@obunsha.co.jp
※「スタートアップ部門」以外はEメールでの作品応募はできません。

▶ 各賞について

小学生の部	金 賞 (賞状・記念品・図書カード1万円分)	銀 賞 (賞状・記念品)	銅 賞 (賞状・記念品)
中学生の部	金 賞 (賞状・記念品・図書カード1万円分)	銀 賞 (賞状・記念品)	銅 賞 (賞状・記念品)
高校生の部	金 賞 (賞状・記念品・図書カード1万円分)	銀 賞 (賞状・記念品)	銅 賞 (賞状・記念品)

金賞の3作品の中から最も優れた作品が
「旺文社ベンチャーズ大賞」に選出されます。

旺文社ベンチャーズ大賞

(賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円)

参加者全員に
参加賞を
プレゼント!



無限の可能性を秘めている子どもたちだからこそ

常識にあてはまらない

新たなアイデアを生み出すことができると考えます。

いま、世界で、日本で何が起きているのか。

どのような事が行われているのか。

それらを自分の事として捉え、社会の課題を見つけ出し

そして解決して

豊かな未来を創造してほしいと願っております。



学 ぶ 人 は、
変 えて だ。
ゆ ぐ 人

株式会社 旺文社

全国学芸サイエンスコンクール事務局

TEL : 03-3266-8002

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>